

新規実施項目のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

敬具

(記)

【項目名】： 便中カルプロテクチンLA
【受託開始日】： 2026年3月2日(月)受付分より

【受託要領】

項目名称	便中カルプロテクチンLA
項目コード (旧コード)	14152 (5515)
検査容器	B-F10
検体量・保存	糞便 ・ 冷蔵
測定方法	ラテックス凝集比濁法
基準値	50.0以下
	炎症性腸疾患の診断補助:50.0以下
	潰瘍性大腸炎の病態把握の補助:300.0以下
	クローン病の病態把握の補助:80.0以下
単位	μg/g
報告範囲	20.0以下～2720.0以上
報告桁数	小数第1位
所要日数	3～5日
実 施 料	268点
判 断 料	34点【尿・糞便等検査】

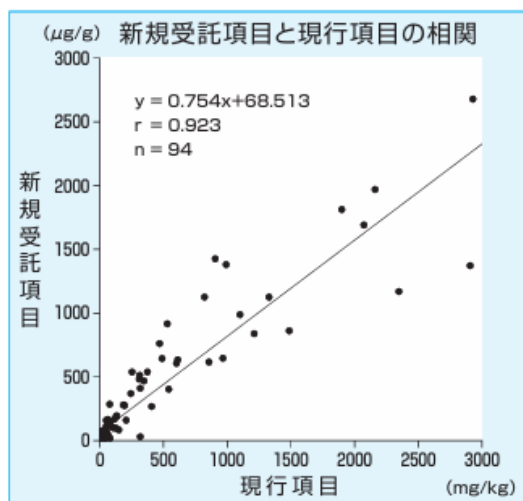
カルプロテクチンは主に好中球に存在する炎症応答蛋白質で、腸管炎症時に糞便中に流出するため、糞便中濃度は腸管炎症の程度を把握することが可能です。
潰瘍性大腸炎(UC)とクローン病に代表される炎症性腸疾患(IBD)の診断や活動性の評価には、内視鏡検査での観察と組織評価が必要ですが、侵襲的な内視鏡検査は患者様の負担が伴います。本検査はIBDなどの器質的疾患と過敏性腸症候群などの機能性腸疾患の鑑別や、潰瘍性大腸炎とクローン病の病態把握に有用な非侵襲的な検査です。
また、臨床的に寛解状態における糞便中カルプロテクチン濃度の上昇は再燃につながることが報告されており、再燃予測が可能となります。
この度、所要日数短縮を目的として、ラテックス凝集比濁法の試薬を用いた検査の受託を開始いたします。
※裏面に続きます。

【B-F10容器と専用の提出用袋】



新規受託項目の検体採取方法は、B-F10容器に添付されている説明書をご参照ください。
糞便を採取したB-F10容器は専用の提出用袋(紫色)に入れてご提出ください。

相関図(ご参考)



【検査方法の参考文献】

山本彩香, 他: 医療と検査機器 43, 593-598, 2020.